

講義名	業界研究（証券業）		
科目区分	特別研究		
担当教員	森澤 龍也		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
野村証券株式会社の提供により「資本市場の役割と証券投資」を主題に開講する。現代の証券市場とそこで活動する証券会社、そして資産運用ビジネスについて、最も基礎的な理論と最新の知識を学ぶことにより、証券投資を身近なものとして理解することを目標とする。

<b>到達目標</b>
証券会社や資産運用について、実務経験に基づいた最新の知識を学ぶことができる。

<b>提出課題</b>
第一回開講時に説明する。

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>
簡単な講評を述べる予定である。

<b>評価の基準</b>
緊急事態宣言下のオンライン講義に当たり、最終評価は講義参加・提出課題によって行う。

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
証券市場は、資本主義経済の根幹を成す部分である。証券市場についての知識を欠いてビジネス一般を語ることはできない。確定拠出年金制度の導入にみられるように、証券市場とそこにおける資産運用の理解は諸君自身の生活ファイナンスにおいてもきわめて重要なテーマとなっている。この講義は、第一線のビジネスマンによるものであり、単なる知識の修得以上に諸君の関心をかきたてるものと信じているので、熱心に聴いて欲しい。

<b>教科書</b>
・ 特定の教科書は使用しない。

<b>プリント資料及び参考文献</b>
<参考文献> 『証券投資の基礎』野村証券投資情報部編 丸善株式会社 『日本の資本市場』氏家純一編 東洋経済新聞社

<b>授業計画</b>
当初は、野村証券の方々による講義を下記の計画で行う予定であった。
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 経済情報の捉え方</li> <li>3 金融資本市場の役割とその変化</li> <li>4 債券市場の役割と投資の基礎知識</li> <li>5 外国為替相場とその変動要因について</li> <li>6 証券投資のリスク・リターン</li> <li>7 ポートフォリオ・マネジメント</li> <li>8 株式市場の役割と投資の基礎知識</li> <li>9 株式市場の役割と投資の基礎知識</li> <li>10 グローバル化する世界と資本市場の果たす役割</li> <li>11 投資信託の役割とその仕組み</li> <li>12 日本の株式市場史</li> <li>13 産業展望と投資の考え方</li> <li>14 資本市場における投資家心理</li> <li>15 ライフプランニングとNISA</li> </ol> 上記の予定は担当者編成との関係で変更することがある。  緊急事態宣言下のオンライン講義に当たり、しばらくは森澤が「証券ファイナンスの基礎理論」を講義する。野村証券のご都合がつけば、随時、上記の計画による講義を再開する予定である。第1回の講義資料（オンライン配布予定）を必ずよく読むようにしてもらいたい。

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
総予習（参考書講読） 7.5時間 予習 1.5時間/回×15回 復習 1.5時間/回×15回 総復習（参考書・講義資料講読） 7.5時間

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>
毎回、パワーポイントによる投影方式で講義を行う。

<b>実務経験の有無及び活用</b>
実務経験あり（野村証券） 実務経験に基づいた証券経済を学ぶことができる。

<b>備考</b>